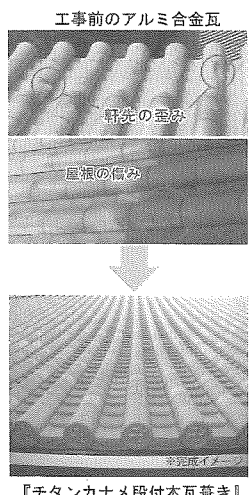


◎アルミ合金瓦にかわって
浅草寺「五重塔」チタン屋根に
カナメが葺き替え工事



工事前のアルミ合金瓦
軒先の歪み
屋根の傾み
【チタンカナメ段付本瓦葺き】

(株)カナメ（本社：栃木県宇都宮市 社長：吉原正博）では、軽量・高耐久のチタン成型瓦で、浅草寺（東京都台東区）の五重塔屋根葺き替え工事が始まった。設計・施工の清水建設のもと、チタン屋根工事を同社が行う。

現在の五重塔は昭和48年（1973年）に再建された建物で、屋根はアルミ合金瓦を使用している。再建から43年が経過し、既存アルミ合金瓦に点錆や軒先の一部に歪みが発生しており、屋根を葺き替える事になった。屋根工事にあたってはすでに浅草寺宝蔵門（2007年5月完工）、本堂（2010年11月完工）で実績のあるチタン屋根「チタンカナメ段付本瓦葺き」が採用さ

れた。このチタン瓦は喜多方市にある同社の喜多方工場で製造され、浅草寺に届けられる。

現在の金属屋根材で最も耐候性のあるチタンを使用することにより、酸性雨や潮風などの環境影響をほとんど受けない。意匠性に関しては、過去の本堂のチタン屋根工事においても素材色に微妙な濃淡違いを3種類用意し、それらをランダムに配置することにより瓦屋根特有の「色むら」を再現していたが、今回のチタン材は配色をより「いぶし瓦」に近づける改良を施し、美しさを追求した工事となる。

◎旭トステム外装
金属外装材 iD 塗装品
10 商品新発売

旭トステム外装では、金属外装材「Dan サイディング」の iD 塗装品をフルモデルチェン

ジし、新柄「ティエラ SF/SX」「プレシャスウッド SF/SX」、リニューアル柄「シャトーロッシュ III SF/SX」「スレンダライン II SF/SX」「ラ・ドゥーナス II SF」「煉瓦 II SX」の全10商品を、16年8月1日から全国で発売する。

※「iD 塗装」は繊細な色調の変化を描き分ける AT 外装オリジナルのインクジェット塗装技術。iD とは、「infinity」「imagination」「Dynamic」「Design」の頭文字をとった AT 外装の造語。

新しくなった金属外装材「Dan サイディング」iD 塗装品は、インクの噴き付け精度の向上により、色ムラなどの繊細な表現ができるようになり、より表情豊かな外観を演出できるようになった。

新柄「ティエラ SF/SX」は、さまざまな大きさの石を組み合わせた積石柄デザイン。石の欠けや削れ具合などの繊細な石のテクスチャーを再現することで生まれたランダムで自然な陰影感が特長。同じく新柄の木目デザイン「プレシャスウッド SF/SX」は、板ごとに色ムラを付け、自然な印象に仕上がる。

このほか、リニューアル品として、石の陰影や素材感を表現した「シャトーロッシュ III SF/SX」や、スタイリッシュな細石積柄「スレンダライン II SF/SX」、スクエア柄デザインの「ラ・ドゥーナス II SF」、ア

ンティーク調の色合いを再現した「煉瓦 II SX」を用意している。また新柄「ティエラ SF/SX」「プレシャスウッド SF/SX」、リニューアル柄「スレンダライン II SF/SX」は、施工した際に継ぎ目が目立ちにくい「隠目地」により、さらに美しい壁面を実現する。

◎三和 HD
仏 産業用ドアの
ノルスード社を買収

三和ホールディングスの100%子会社であるノボフェルムグループ（本社所在地：ドイツ）は、産業用ドアの製造・販売・施工・サービスをフランスで展開しているノルスード・ジェスチョン社（Norsud Gestion SAS「以下ノルスード社」）の株式100%を取得。

三和グループは、スチール建材におけるグローバル・メジャー企業となるべく日本、米国、欧州、アジアの4極に展開しており、欧州においてはノボフェルムグループが事業活動を展開している。

ノボフェルムグループは、2014年にオランダの産業用ドアメーカー・アルファ社（Alpha Deuren International B.V.）を買収し、非住宅部門/産業用ドア製品の強化を図ってきた。同社は、今回のノルスード社買収により、フランスにおける施工・サービス体制を強化し、今後も欧州市場における非住宅部

門のさらなる強化を図る。
ノルスード社の会社概要

- (1) 商号 Norsud Gestion SAS
- (2) 所在地 リヨン、フランス
- (3) 事業内容 産業用ドアの製造・販売・施工・サービス
- (4) 売上高 24 百万ユーロ（2016年3月期実績）
- (5) 従業員 150 名

ノボフェルムグループの概要
ヒンジドア、ガレージドア、産業用ドア等製造販売で欧州第2位の企業グループ。

- (1) 売上高 399 百万ユーロ（2015年12月期実績）
- (2) 従業員 2,040 名

◎ LIXIL
「ソーラールーフ」
バリエーションを強化

LIXIL は、屋根とソーラーパネルを一体化することで、シンプルな外観デザインと高い施工性を実現した屋根一体型太陽光発電システム「ソーラールーフ」に、現場でのジャストフィットを可能とする1mm単位での寸法対応や、屋根材との組み合わせによる軒先張分け仕様など、多彩な設置ニーズに応えるバリエーションを新たに設定し、2016年8月1日より受注開始する。

「ソーラールーフ」は、屋根材が不要な構造により一度の工事で施工できる点や、屋根置き型に比べ屋根材分のコストを抑えて設置することが可能な点が好評、高効率タイプの屋根一体



屋根一体型太陽光発電システム「ソーラールーフ」（軒先張分け仕様）施工例

型太陽光発電システムである。

今回、さらに現場対応力を強化し、あらゆるニーズに対応するため、さまざまな屋根寸法に対応できるようにアルミ調整材による調整機能を採用、1mm刻みでの調整が可能となった。調整材は幅方向だけでなく、流れ方向にも採用しており、業界初となる幅方向・流れ方向ともジャストフィット対応が可能。加えて、軒側欠け・棟側欠けにも対応することで、流れ屋根や切妻屋根などの屋根形状にあわせたバリエーションを豊富に揃えている。

さらに、搭載量を調整するためのダミーモジュールを新たに用意したほか、パネルと屋根材を張り分けることで搭載量の調整を可能とし、さらに積雪地域では雪を落としながら発電を促すこともできる軒先張分け仕様も用意している。張分け構造とすることで、後から屋根材だけをメンテナンス交換することも可能となるほか、同社の屋根材「T・ルーフシェイク」や「セネター」と組み合わせることで、屋根全面をまとめて長期保証※する。